

援助会員養成講座のご案内

まつさかファミリーサポートセンターでは、『平成21年度 第1回援助会員養成講座』を行います。現在ファミリーサポートセンターの会員さんは500名を超え、一ヶ月の利用も200件近くになりました。近年、地域の間関係が希薄になる中、核家族化も進み子育てを助けてほしいご家庭が増えてきています。子育てを応援してみようと思われる方、ぜひ受講してください。

会場 松阪市徳和地区市民センター (松阪市上川町263-3)
 対象 松阪市内及び近隣市町村に在住する20歳以上の方
 受講料 無料
 テキスト代 2,000円

月日	時間	講座内容
6月18日(木)	10:00~11:30	保育サポーターの役割と心得
	11:30~12:00	援助活動体験談
	13:00~15:00	子どもの心の発達
6月20日(土)	10:00~12:00	子どもの心に寄り添う
	13:00~15:00	保育の心 一親を支える気持ち
6月21日(日)	9:30~12:30	子どもの事故と安全・幼児救急法
	13:30~16:30	子どもの栄養と食生活
6月25日(木)	10:00~12:00	事業を円滑にするために グループワーク
	13:00~15:00	子どもの病気

- 託児(1日1人500円 おやつ代込み)が必要な方は、事前にお申し込みください。
- 都合により内容等を変更する場合がありますので、ご了承ください。

アドバイザーより

新しい年度も2か月が過ぎ、生活も落ち着いてきたのではないのでしょうか。環境が変化すると、ペースをつかむまでに時間がかかります。ましてや、初めて親御さんと離れる園児はどんな思いをするのでしょうか。

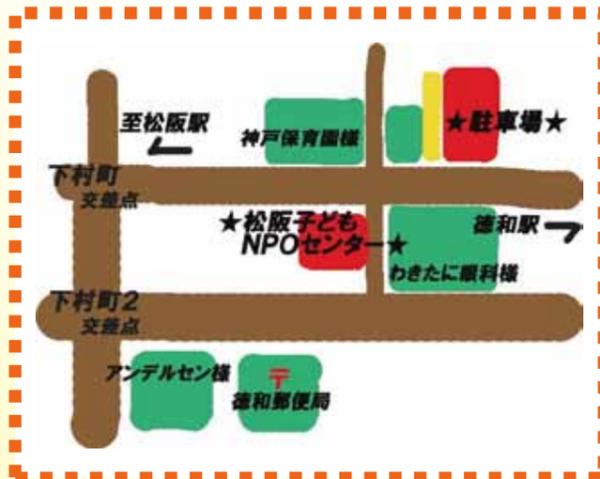


先日マッチング終了後、依頼会員さんが、「援助会員さんってどんな人かと思いましたが、話してみても安心しました。」と言われました。大人でも子どもでも安心できることが本当に大切なことではないのでしょうか。私たちアドバイザーも、安心していただけるサポートを心がけたいと思います。

私たちが、皆さんのお手伝いをさせていただくアドバイザーです

★まつさかファミリーサポートセンター★

〒515-0043 松阪市下村町1115
 (特) 松阪子どもNPOセンター内
 TEL・FAX 0598-60-1820
 E-mail mfsc@mknpo.jp
 URL http://www.mknpo.jp/mfsc/
 (受付時間) 8:30~19:00
 (休日) 土・日・祝日・年末年始



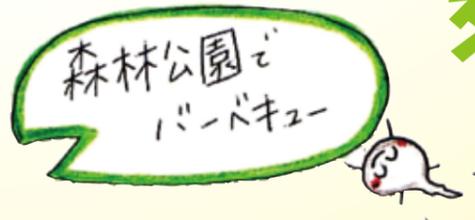
2009年6月(第12号)

ファミサポ。ホットタイム

発行元 まつさかファミリーサポートセンター



交流会



まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています。

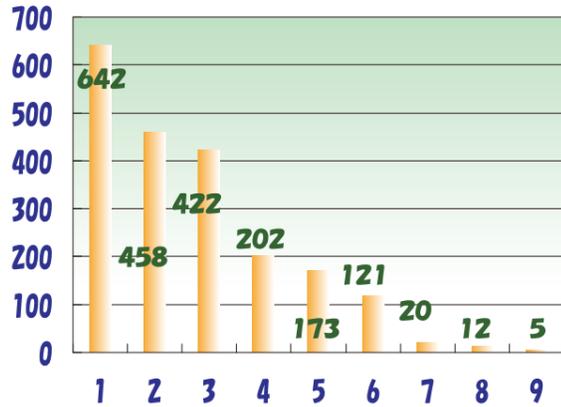


2008年度の活動報告

2008年度もたくさんの方に、ファミリーサポートセンターをご利用いただきました。どうもありがとうございました。



援助件数 (合計2055件)



1	保育所、幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり
2	学校、学童保育の迎え及び帰宅後の預かり
3	保育所、幼稚園の登園前の預かり及び送り
4	保護者の用事、他の子どもの学校等の行事
5	子どもの習い事等の付き添い
6	学童の登校前の預かり及び送り
7	保護者の臨時的就労等の預かり
8	保育所、学校等休みの預かり
9	その他

依頼会員	251人
援助会員	195人
両方会員	68人
合計	514人

(2008年3月31日現在)

まつさかファミリーサポートセンターが始まって6年になります。お母さんが病院に通われるときにお預かりした赤ちゃんが小学校に入学したり、保育園のお迎えをしていた4歳の幼児さんが小学校高学年になったりして退会者も増え、ぐんぐん伸びていた会員数も今年はわずか20名ほどの伸びにとどまりました。しかし、援助件数は500件(約30%)も伸び、本当に必要な方がご利用いただいているということがわかります。

相変わらず多いのが、保育園や学童保育へのお迎えの後、保護者の方がお帰りになるまでの比較的短い時間の預かりです。ただ同じ形の援助であっても、保護者の長期にわたる体調不良、仕事の都合、下の子の出産など理由は様々です。また今年一気に増えたのが、一人親家庭の子どもさんの朝の登園、登校前の預かりと保育園、小学校までの送りなどでした。

援助の形がどんどん多様化する中、まつさかファミリーサポートセンターでもそれぞれのニーズに合わせた丁寧な援助が必要だと感じています。



平成20年度 交流会



3月8日(日)11:00~13:00 松阪市森林公園にて交流会を開催しました。当日はインフルエンザが流行していたこともあり、キャンセルの方もありましたが、32名の方に参加していただきました。

バーベキュー用の大きな鉄板の周りに集まり、配られたお肉やソーセージ・野菜を焼いて、依頼会員さん援助会員さんが一緒になって、和気あいあいと食事の時間を過ごしていただいた後、スタッフが手遊びと絵本の読み聞かせをしました。

毎年交流会の参加者が少なく、どうしたらたくさんの方に参加いただけるか頭を悩ませていますが、食べ物を囲みながらの交流は、にぎやかに話も弾み、みなさんに楽しんでいただけたことと思います。

また今年度も、たくさんの方が参加いただける交流会を考えたいと思います。



みんなこんな顔で見えました



絵本の読み聞かせもありました



援助活動やってま〜す!



依頼会員の塩崎さんと援助会員の山口さんの出会いは4年前。しかし、なかなか双方の都合があわなくて、今回はじめての援助活動となりました。

お母さんが歯医者さんにかかる間、山口さんが音生くん(ねおくん・8ヶ月)をみていてくださいます。塩崎さんは『夫婦共に実家が遠いしこんな時助けてもらえると嬉しいです。』とあって笑ってみえました。音生くんも始終ニコニコ。『大変なことも多いでしょうが、4人もお子さんがみえるなんて拍手ですよ!』と山口さんは力強く話されました。



涼巴くん(りょうはくくん)は元気でサッカー大好きな1年生。週に何回か援助会員の坂東さんがお迎えをされて、少しの間お宅ですごします。

今のお気に入り「しかけの魚とり」だそうで、どじょうやめだかやおいかわ...と、とても仲よさそうに2人で話してくれました。坂東さんのご主人のご協力もあって楽しいひとときを過ごされているようです。『魚かかるとるかなあ。早く見にいこうよ』と涼巴くんにせかさされ楽しみに帰っていかれました。おうちに帰るまで、もうひと遊びですね

